

ニッコールグループのニコダームリサーチが CTI-BIOTECH 社と新たに提携
- 今までにはない次世代の三次元組織モデルやヒト摘出皮膚を用いた評価が可能に -

ニッコールグループのニコダームリサーチ（本社：大阪市中央区安土町 1-6-14 朝日生命 辰野ビル 社長：関根 正悟）は、このたび新たなビジネスパートナーとして CTI-BIOTECH 社（本社：Bâtiment A16 5 Avenue Lionel TERRAY 69330 MEYZIEU-LYON FRANCE 最高経営責任者：Dr. Nico Forraz）と提携し、4月15日にフランスのリヨン市庁舎 HOTEL DE VILLE で調印式を行いました。調印式は、リヨン市長および在フランス日本大使の列席の下、多くの関係者の皆様にご参列いただきました。調印式後は CTI-BIOTECH 社へ移動し、メイジュール市長の列席の下、開所式も行いました。



調印式の様子

CTI-BIOTECH 社は 2009 年に Pr. Colin McGuckin と Dr. Nico Forraz によって設立され、成人由来の幹細胞を使って人工肝臓組織を世界で初めて作り上げた医薬系のベンチャー企業です。これまでに肝臓、腎臓、神経、骨、血液、免疫、血管、皮膚、角膜など数多くのヒト組織の再構築技術を開発してきました。

また、CTI-BIOTECH 社は EU 癌研究のコンソーシアム（IMODI¹⁾）に参加しており、National BioBank として幅広い年齢層のさまざまな皮膚組織を管理しています。複数の病院と提携しているため、条件に適合する組織を 24 時間以内に入手することが可能です。

一方、ニコダームリサーチは、化粧品・医薬品・食品などの安全性や有用性を最先端の皮膚科学に基づき適切に評価している会社です。日本の研究機関のみならず、海外の皮膚評価機関とも提携して多岐にわたる評価を行っており、お客様のご要望に応じて的確な評価方法をご提案しています。

CTI-BIOTECH 社との提携により、主にヒト皮膚組織を用いた *ex vivo* 評価ができるようになり、経皮吸収性試験や毛包を用いた試験など、日本のラボでは実施困難な試験の受託が可能となりました。また、神経系の入った 3D 皮膚モデルなどニーズに応じた 3D 組織モデルの構築が可能となり、オリジナルの有用性評価も行えるようになりました。さらに、CTI-BIOTECH 社の National BioBank を利用して、バラエティに富んだソースの細胞を用いた評価が可能となりました。ニコダームリサーチでは、このような最先端の手法を駆使することで、皆様のビジネスをサポートして参ります。

1) IMODI : Innovative Models Initiative against Cance

【ニュースリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日光ケミカルズ株式会社
企画部 佐藤 智陽 (TEL) 03-3661-6826 (mail) adv@nikkol.co.jp

【本技術に関するお問い合わせ先】

株式会社ニコダームリサーチ
営業部 栗原 浩司 (TEL) 06-6125-3501 (mail) info@nikoderm.com